



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800
Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第 450 回例会 8月7日(火)AM 19:30~20:30

オークラアクティホテル浜松4F平安の間

■司会:森 俊彦 木村満義 ■点鐘:小澤邦比呂 ■ロータリーソング:我等の生業
■ゲスト:国際ローター-第2620地区ガバナー 高野孫左エ門様 同地区副幹事 五味晃様
静岡第7分区ガバナー補佐 安間みち子様 同事務局 飯田明男様・中村皇積

出席

90名中63名70.0%
前々回修正出席率70.0%

会長挨拶

本日は高野孫左エ門ガバナーならびに地区副幹事の五味晃様、そしてガバナー補佐安間みち子様、ガバナー補佐事務局の中村皇積様、飯田明男様をお迎えし例会を開催いたします。私が会長エレクトのとき、高野ガバナーのお話を伺い、こんなにもロータリークラブに対して思いを持って臨んでいらっしゃる方がいるんだと大変感動して帰ってきました。あるとき、書を通じてお付き合いをしている当クラブメンバーの金山土洲さんより、『私が会長をやるからぜひ入会していただきたい』との誘いをいただきましたが、お断りをしました。しかしこのクラブなら私を成長させてくれるプロセスがあるだろうと感じました。これが入会の動機でした。私は『親睦』というものは『目標を共有して、それを継続して成し遂げるための親睦』が第一だと考えています。会長就任のお話をいただきました時も悩みました。そんな折、大好きなハンバーグレストラン『さわやか』に行きました。駐車場にこう書いてありました。『前向きで！』。駐車場にも励まされ、就任を決意しました。私は『風』を大事にしています。会社でいえば『社風』、家庭でいえば『家風』、学校でいえば『校風』、人間でいえば『風格』というものがあります。『風』をおこし、後輩たちに伝えるべきものをその『風』の中で伝えていきたい。クラブにもまた、『風』が必要であると感じます。本日、高野ガバナーをお迎えしております。本日、あらためてチャーターナイトのような気がします。そして、ここに集まっているメンバーがあらためてのチャーターメンバーのような気がします。私は今、このクラブに『誇り』と『感謝』と『希望』をもっています。どうか今日から皆さんと共に成長したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

- ①第1回理事会において退会された藤田允さんのフレンドシップメンバーの登録が承認されましたのでご報告いたします。
- ②本日レターケースに『ガバナー月信第2号』『ロータリーの友8月号』『インターシティミーティング報告書』をいれましたので良くお読みください。今月は『会員増強および拡大月間』ということでロータリーの友は『会員増強』についての特集がされております。横書きページの14ページには会員増強について諸星圭吾さんが書かれた記事が、松本太一さんのラジオ体操の写真とともに掲載されておりますのでご確認下さい。
- ③8月11日(土)静岡市グランシップにて地区ロータリー財団のセミナーがあります。松田さん田淵さんにご出席いただきます。
- ④8月28日に第2回目の理事会が開催されます。議案提出期限は開催の2週間前となっておりますのでご協力よろしくお願い致します。
- ⑤次週8月14日は特別休会により例会はありません。

スマイル報告

小澤邦比呂・青山素久

本日は高野孫左エ門ガバナー、五味晃地区副幹事にお越しいただきまして誠にありがとうございました。PETS研修や地区協議会などで高野ガバナーのお話を伺うにつれロータリークラブに対する考え方がより前向きになっております。パワー浜松RCは、昨年度10周年を迎え、本年度は新たな10年に向けてのスタートの一年です。メンバーが一丸となり、高野ガバナーの期待に添えるような、より良いクラブ運営ができるよう努力して参ります。今後共ご指導の程よろしくお願い致します。

小澤邦比呂・青山素久

本日は安間みち子ガバナー補佐、ならびにガバナー事務局の飯田明男様、中村皇積様にお越しいただきまして誠にありがとうございました。安間ガバナー補佐の『明るさ』『元気』を見習い、活気のあるクラブ運営を目指し頑張る参ります。今後共ご指導の程よろしくお願い致します。

高木一浩

今年度も会員増強よろしくお願い致します。

原田道子

先週水曜日8月1日に甲府シティーロータリークラブに会員増強の卓話に行ってきました。丁度ガバナー補佐の深沢さんが甲府シティーロータリークラブに行かれるということで駅までお出迎えをして頂きました。深沢さんは、地区の会員増強と一緒に頑張った大先輩です。楽しいひと時を過ごしました。今年は地区でガバナー補佐は女性が2名なんですわ。高野ガバナー、地区で楽しめそうですね！

委員会報告他

親睦部会/松本太一

課外活動第2弾として、金山土洲さんと行く「初秋の夜の想い出たきや漁体験」を9月4日(火)に企画しました。募集締切りが8月21日となっておりますのでよろしくお願い致します。

会員増強維持部会/高木一浩部会長

本日、新会員募集にあたっての注意等を書いてある「会員の皆様へ」というものを配布しました。裏面に未充足業種を挙げてありますので参考にしてください。今年度は月に1名増強の12名くらいの新会員をめざしております。去る8月4日に新人研修を実施いたしました。

米山奨学生/賀さん

本日修士論文は80%くらいの完成です。7月22日の館山寺花火大会に参加させていただきまして大変勉強になりました。



2012-13

第450回例会
8月7日(火)



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800
Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



プロフィール

今の企業の寿命は30年といわれています。私どもの会社は444年続いています。これは、ひとつは利より信を大切にしてきたことと環境の変化に対応できたことだと思っております。では、1905年に創設されたロータリークラブはなぜ107年も続くことができたのでしょうか。創設者のポール・ハリスはなぜロータリークラブを創ったかという質問に「さびしかった」と回答しています。当時殺伐とした世の中で本当に信頼でき、話ができる友だちが欲しかったのです。



高野孫左衛門ガバナー

ポール・ハリスの言葉

私のロータリーに対する考えは時に革命的に変わったことがある。親睦で楽しい場であることだけに満足できなくなった。しかし、この会員意識を変えクラブの拡大を進めることは困難であった。むしろ、新たなクラブを創設することの方が容易な方法であった。

ロータリーの中核となる価値観

1. 奉仕: 人のためになることを自発的に行う。
2. 多様性: 会員構成(性別、年齢、国籍)の多様性、活動の多様性
3. 親睦: 困っていることを見つけ、困らないようにして差し上げること。懇親と親睦は違います。
4. 高潔性: 信頼を裏切らない。信頼に応える。
5. リーダーシップ: 自ずと生まれるクラブの緊張感や寛容が生み出す行動。地域社会で必要とされる人であり、その人たちの集まりがロータリークラブである。

私なりのロータリーのとらえ方、考え方を述べました。これが正解かどうかは分かりません。答えを出すのは皆さま方です。パワー浜松ロータリークラブは2620地区で稀有なポテンシャルを持つクラブだと思います。中期計画、20年後、30年後の姿で、立派な成果を上げることを期待いたします。最後に11月17-18日に甲府で地区大会と来年6月23日にリスボンで開かれる世界大会へのたくさんの参加をお願いします。

プロフィール

甲府ロータリークラブ所属 1956年7月22日生
学歴
1979年3月 上智大学経済学部経営学科 卒業
職歴
1979年4月 株式会社吉字屋本店入社と同時に
シェル石油株式会社出向
1982年11月 シェル石油株式会社出向終了
1984年5月 株式会社吉字屋本店 取締役副社長就任
1996年5月 株式会社吉字屋本店代表 取締役社長就任(現任)
2005年3月 山梨トヨペット株式会社代表 取締役社長就任(現任)



ガバナーからハッピーバースデイ

塩屋孫左衛門は永禄11(1568)年1月11日に越後の上杉謙信から塩をもらって甲州にこれを移入した人として今でも人々に語られている歴史上の人物です。これを記念して、今では日本国中1月11日を「塩の日」としています。

これは、その前年1567年8月、駿河の今川氏真が、相模の北条氏康と共謀して甲斐の武田氏への経済封鎖として塩の移出を禁じたことが発端です。海の無い山梨では塩は生命線です。たちまち、塩不足を呈しました。この非人間的な所業に同情したのが越後の上杉謙信でした。塩に困窮する宿敵甲州に塩の移出を許したのです。「敵に塩を送る」のはこのときにできた格言です。塩屋を先祖とする高野総一氏は、塩屋孫左衛門から数えて18代目、2010年2月24日第18代高野孫左衛門を襲名された。